

平成25年度

事業報告

平成25年10月 1日から
平成26年 1月31日まで

一般財団法人世界少年野球推進財団

平成25年度事業報告

1. 第23回世界少年野球大会福井大会実行委員会

平成25年12月18日に福井県敦賀市にて第2回実行委員会が開催され、当財団から久須美事務局長が出席した。

【主な議題】

(1) 福井大会事業報告及び収支決算について

余剰金 8,447,604円

余剰金については世界少年野球大会フォローアップ野球教室を一般財団法人世界少年野球推進財団と共催して、本年9月に福井県嶺北地域、10月に同嶺南地域で開催する費用に充当する。

(2) 福井大会実行委員会解散

2. 第24回世界少年野球大会愛媛大会開催に向けての打ち合わせ

愛媛県企画振興部地域振興部及び、松山市総合政策部と愛媛大会の開催に向けて愛媛県内や財団事務局で打ち合わせをおこなった。

3. 少年野球教室、指導者講習会の開催事業

(1) JA全農WCBF少年野球教室

全国農業協同組合連合会（JA全農）が特別協賛し、当財団が主催して毎年開催している野球教室。全国農協食品株式会社と全農パールライス東日本株式会社、JA全農青果センター株式会社、JA全農たまご株式会社、JA全農ミートフーズ株式会社、雪印メグミルク株式会社の6社の協賛を得ている。

平成5年から開催しているこの野球教室は、平成24年度に100回を迎えた。

今期中は下記の日程で3回行った。教室では講師のプロ野球OBが小中学生に投げる、捕る、打つ、走る、の基本を指導、少年野球指導者には正しい練習方法や指導方法などを教えた。また、トレーナーによる正しいトレーニング方法の指導や、保護者を対象とした管理栄養士による栄養学教室を併せて開催した。

1) 静岡県・富士教室

期 日 平成25年10月19日（土）

会 場 静岡県富士市・富士総合運動公園野球場

講 師 市川 和正（横浜OB） 西崎 幸広（日ハムOB）

水上 善雄（ロッテOB） 屋鋪 要（巨人OB）

石川 慎二（トレーナー）

平成25年度事業報告

海老 久美子（立命館大学スポーツ健康科学部教授）

参加者 選手264名 指導者50名 栄養学教室26名

2) 秋田県・大仙教室

期 日 平成25年10月26日（土）

会 場 秋田県大仙市・大仙市神岡中央公園屋内多目的施設 嶽ドーム

講 師 市川 和正（横浜OB） 西崎 幸広（日ハムOB）

水上 善雄（ロッテOB） 屋鋪 要（巨人OB）

石川 慎二（トレーナー）

阿部 菜奈子（管理栄養士）

参加者 選手242名 指導者30名 栄養学教室30名

3) 岐阜県・輪之内教室

期 日 平成25年11月9日（土）

会 場 岐阜県輪之内町・輪之内アポロスタジアム

講 師 市川 和正（横浜OB） 西崎 幸広（日ハムOB）

水上 善雄（ロッテOB） 屋鋪 要（巨人OB）

石川 慎二（トレーナー）

阿部 菜奈子（管理栄養士）

参加者 選手197名 指導者55名 栄養学教室37名

【アンケート結果】

（※野球教室終了後、指導者や保護者からとったアンケートの結果を抜粋して掲載。）

- ・元プロの一流選手に直接指導してもらい、大変参考になった。（富士教室、指導者）
- ・スポーツを通して礼儀や感謝の大切さ、人材育成として精神面の重要性を再確認した。（富士教室、指導者）
- ・丁寧に指導していただき、本当に感謝している。指導内容がとてもわかりやすかった。（大仙教室、指導者）
- ・これまで自分が誤った指導法をしていたことがよくわかった。（大仙教室、指導者）
- ・屋鋪先生の走塁指導を受けて、子どもたちは、今後の練習でもっと実践に近い形での走塁練習を試みたくなったと感想を述べていた。（大仙教室、指導者）
- ・トレーナーの指導者講習会を受講して、トレーニング方法について考えを改めることができた。（大仙教室、指導者）
- ・プロの選手に教えてもらったことで、子どもたちのプロになりたいという気持ちが高まったように思える。（輪之内教室、指導者）
- ・子ども達だけでなく指導者も基本について学ぶことができた。（輪之内教室、指導者）
- ・栄養学教室では、知っていた事でも、勘違いも多々あることが分かった。どんな時に何を食べたらいいか、今の子どもたちには何が必要な栄養なのか、具体的な説明が

平成25年度事業報告

- あり、聞きやすかった。(富士教室、保護者)
- ・運動前、運動中、運動直後の栄養補給について、とても勉強になった。
 - ・スポーツをする子どもを持つ母親として、栄養配分などを考えて体づくりを手助けしてあげたいと思った。(輪之内教室、保護者)

4. 会報の発行事業

財団の活動状況や事業内容、財団設立の目的、理念などを幅広く広報するため、会報第42号を発行した。

様式 B5版 カラー印刷
発行部数 各5,000部
発行日 平成25年10月22日付
内容 第23回世界少年野球大会福井大会実施報告
全国少年野球教室実施報告、他
配布先 関係機関、団体 協賛企業 寄付者
WCBF会員(個人、法人、構成団体)
マスコミ 関係官庁 野球団体 大会参加者など

5. グッズ等の企画、製造、販売事業

オフシーズンということもあり、平成26年シーズンに向けてプロ野球12球団のグッズの準備をした。

話題の選手が加入した球団や人気などを分析しながら、球団ごとのグッズの販売計画を立てた。

サンリオキャラクターをあしらったアクセサリやタオル、ぬいぐるみは、大人から子どもまで幅広い年齢層に人気があるので、25年度もプロ野球のキャンプからの発売に合わせ準備を進めた。また、平成24年度から始めた各球団スポット企画(サンリオキャラクター・ハローキティ誕生40周年や、読売ジャイアンツ設立80周年、千葉ロッテブラックイベント、福岡ソフトバンク鷹の祭等)の計画を進めた。

6. 新規会員確保への業務

昨年度に引き続き、当財団の運営を安定させるため、関係団体や個人を通じて会員協力を呼びかけた。増減は下記の表を参照。

	平成25年9月	平成26年3月	増減
法人会員	56件	61件	5件
個人会員	378件	480件	102件

平成25年度事業報告

7. その他

平成25年11月21日 平成25年度第1回定時理事会開催

平成25年12月6日 平成25年度第1回定時評議員会開催

【主な議題】

- ①平成24年度事業報告・収支決算報告
- ②平成25年度及び26年度事業計画・収支予算
- ③事業年度の変更

平成25年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成26年4月

一般財団法人世界少年野球推進財団